

<http://www.ultraman.gr.jp/~morinoko/index.html>

野外保育

森の子

since 2002
MORI NO KO

2004.4.5月号

1

静かな森に暖かい光が差し、安曇野に春がやってきました。久しぶりに顔をあわせたこども達の笑い声が森にこだまします。今日からは新しいお友達も加わってみんなきよるきよる、なんだか楽しくってしょうがない。草も木も森の子も、一斉に芽吹きはじめる4月です。



輝く瞳、ちいさな足で「はじめのいっぽ。」

4月10日。2004年度のはじめの一步式がありました。この日を祝福してくれるように天気も快晴でした。桜の花もほころびはじめ、森も春の息吹を感じられ、新しく森の子のお友達になるこどもたちを歓迎してくれているようでした。森の子のお母さんに白いお花で飾られた裸んぼうの木も小さな芽をいっぱい付けて芽吹きの準備をしていました。受付でいただいたプログラムはにじみ絵で表紙を作ってあってとても暖かい気持ちになりました。手作りって良いですね。そして“これから毎日この子を森の子に通わせるんだ”と気の引き締まる思いがしました。

自己紹介

さて式は前年度卒園したKIちゃんの近況報告のお手紙と写真を紹介したあと依田先生に絵本「きいろいのはちょうちょ」を読んでいただいたり手遊びをしていただいたりして緊張をほぐし新しいお友達、進級するお友達の紹介へと移りました。新入園児ははにかみながら一人ずつ名前を言って用意された小さな花束を母親からもらいました。続いて在園児も自己紹介しながら花束をもらいました。紹介が終わると在園児が「世界中の子供たち」を歌って新入園児を歓迎してくれました。



保護者を交えて自己紹介

みんなで輪になって手をつなぎ「ひらいたひらいた」をした後、保護者代表のETさんが自然の中で保育することの大切さ、意義をレイチェル・カーソンのセンス・オブ・ワンダーから引用してお話してくれました。（野外保育は大変だけれど楽しくて充実したものになるようです。自分の子供だけでなく他の子どもともかわいく思えるようになる・・・というのもステキなことですね。）

そして今日の感想や豊富などを交えながら家族ごとの紹介へと移りました。在園児の家族の方の話はこれからの森の子での生活に役立つことがいっぱいでした。そして新鮮で心に響くものがありました。



先生のお話

森の中は楽しいことがたくさんありますが、中でも子供たちにとって一番楽しいことは森の中で食べるものを探すことです。春のヨモギ、夏のキイチゴ、秋のキノコ・・・森は私たちにいろんな恵みを与えてくれます。私たちが森の中に入るとは森にとって良い面もあります。

昨日、森の中を歩いているとジュースの空き缶やお弁当を食べた後のゴミがたくさん見つかりました。これは心ない大人が作ったゴミだと思います。

子供たちは森の中でいろんなことを発見したり経験したりするうちに森や自然に愛情をもつようになっていきます。森に愛情をもった子供たちが森に入るとは森にとってもとてもよいことだと思います。そしてそれは森が荒れることなく生き続けるためにも大切なことだと思うのです。また子供たちは森で楽しく遊ぶなかで森をとっても大切に思うようになっていきます。大人になっても自然を愛する気持ちを忘れないと思うしそういう純粋な気持ちを持ち続けられるように見守っていきたいと思います。

私たちが森にゴミを捨てることはそんな子供たちの純粋な気持ちを傷つけることになるのではないのでしょうか。私たちも子供たちと共に森に愛情を持って森の恵みを分かちあっていきたいと思います。



森へ散歩

依田先生に絵本「草花とともだち」を読んでいただいた後、先生と

- ・ 森の中で大きな声を出さない（動物を驚かせないため）
- ・ ゴミを捨てない
- ・ 分かれ道では待つ

の3つの約束をしました。そして拾ったゴミを入れる袋と宝物を入れる袋をもって森へ散歩に出かけました。在園児たちにとって森は庭のようなもの元気よくどんどん歩いていきます。新入園児もたどたどしいながら、一生懸命森を歩きます。春の森は清々しくこれからこの森に守られながらいろんな発見をして成長していくのだろう・・・なんて思いながらしみじみと歩きました。途中のもみの木のところに子供たちの名前付きのクッキーがぶら下げてあってかわいらしい趣向で子供たちにおやつプレゼントがありました。ちょうどお腹がすく頃の新入園児の事を気遣ってくれる心遣いに心があたたかくなりました。もちろん子供たちは大喜び！森を抜けて畑に出るといろんな草を見つけたり採ったりしながら歩きました。

森の子に戻ると先生が動物の名前の付いた草「オオイヌノフグリ」「イヌナズナ」などを見せながら説明してくれました。最後に全員で「ともだちなるために」を歌ってはじめての一步式を終わりました。

（新入園児Nちゃんのお母さん記）

since 2008

MORI NO KO じ~んとくるね。森の子お誕生会。

森の子では、こどもの誕生日に「お誕生会」をします。こどもたち一人一人を皆で囲み、お祝いするのです。先生が摘んできてくださった季節の花の冠をかぶり、いつもとは違う雰囲気にならざるにちよっぴり照れくさそうなこども。切り株で作ったケーキに灯るろうそくの炎を吹き消したら、先生がその子のお誕生から今までの様子を語ってくださいます。なんと、事前にお母さんにリサーチした事柄を、すべて暗記してくださっているんですよ。これには思わず涙してしてしまうお母さんも・・・。しっかりお話を聞いたあとは、お母さんお手製のケーキを皆でいただきます。この春は5人のお友達がお誕生日をむかえました。それぞれのお母さんたちにメッセージを書いていただきました。

5才になったまことへ。

お誕生日おめでとう。

いつも忙しくしているお母さんからおおいそぎで生まれてくれたまこと。お父さんにも連絡できずにうまれたあとから見に来てくれました。

あれから5年・・・

まなみや仁の幼稚園や学校、お母さんのお仕事につき合っあちこちつれまわされて、いつもくっついていただけ、3才になる前に森の子に入って今ではお友達ともいっぱいあそべる様になり、木にのぼったりどろんどろん歩いていたりとてもたくましくなりました。泣いて先生におんぶされていたのにすっかり大きくなったんですね。

いつもゆっくりまことと付き合っあげられないけれど、お友達やお兄ちゃんお姉ちゃんと仲良く元気で遊んで下さい。そんなまことの笑顔を見ているのが、お母さんは大好きです。

これからもよろしくね。

お母さんより

M、5才の誕生日。依田さんが私が去年書いたアンケートをもとに、mが生まれたときの事から今までを物語のようにして語って下さいました。(よどみなく長いおはなしをしてくれました。きっと暗記するのに時間をかけて下さったと思います。)子供との思い出は、胸の中にある光る玉のようだなあ、と思う事があります。生まれたときの事、初めて沐浴した時の事、初めて歩いたときの事、すべてがきらきら光るガラスの玉のようにひとつひとつ胸の中にしまっています。その思い出の玉を依田さんが久しぶりに取り出してくれたような気がしました。そして私はまたそれをぴかぴかに磨いて、胸にしまう事が出来ました。もっとまどかにとっていいお母さんになれるように、と強く思った誕生会でした。先生、本当にすてきな誕生会をありがとうございました。

(Mちゃんのお母さん記)



森の子に入園して初めてのお誕生会でした。先生がアンケートをもとにN子の生まれる時のことや生まれてから4歳になるまでのことを物語にしてお話ししてくれました。とても感動しました。日頃の慌ただしさにかまけて子供と向き合うことが減ってきてたかな?と少し反省。こういう機会でもなければお誕生日といっても何となく照れてしまって面と向かって子供に自分の気持ちをきちんと話すことはなかったと思います。そして子供を授かったときの幸せな気持を改めて感じる事が出来ました。ありがとうございます。先生や森の子のお友達に祝ってもらってとても楽しい幸せなお誕生会になりました。

N子母



Dちゃん、Mちゃん、6歳おめでとう。あなたたちを産んでもう6年なんだなあということをお誕生会で実感しました。忙しくててんてこまいで、何から話したらいいかわからないあなたたちの赤ちゃんのときだけど、先生がちゃんとみんなの前でお話してくださったよ。先生はね、私が書いた6年前のあなたたちが生まれた頃のお話を、全部覚えててくださったんだよ。先生お手製の花冠をつけてもらって、みんなにお祝いしてもらってほんとうに良かったね。Mちゃんは照れて嬉しそう、Dちゃんはなんだかもじもじしちゃってはずかしかったのかな。ふたりとも、素敵な一年を過ごしてね。



森の子だより編集室では、皆様からのご意見、ご要望、寄稿、公告掲載を歓迎します。「子供がこんな面白い絵を

編集後記

家庭での編集作業に限界を感じ、シャロムの地下室を貸していただいて独りコツコツ作った晩秋号です。地下室の扉を開けたとたん展開される異様な光景に

描いたんだけど・・・」「小説でも連載しちゃおうかな」
「こんなお店みつけたよ」などなど何でも結構です。誰
でも気軽に参加してね。お待ちしております。



新しいお友達をご紹介します

森の子に通うようになってから約ひと月が過ぎた拓也くん。
もうすっかりみんなとお友達ですね。みんなよろしくね！



松田拓也（まつだたくや）くん

平成10年7月4日生まれ 寅年のかに座、A型

町民プール東側にお住い。小学校は穂高南小学校になります。

とってもやさしい拓也くん。好きな遊びは「戦いごっこ」です。力が強いので敵になると痛いんですって。体を動かすのが大好きで、いつも動いているけれど、なぜか体は細いそうです。森の子に来るように

